

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 2日

事業所名 キッズハウスなごみ家 土生

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	86%	14%	定期的な会議等を行っている	奇数月に業務推進会議、偶数月に管理者会議、2か月毎にカウンセリング等を行い、すべてを共有事項として取り組んでいる
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者の意見などを取り入れながら、すぐに改善できることから取り組んでいます	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページを製作し、掲載するようにします	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		外部評価に関しては、本格的に取り入れていないため、コロナ終息に伴い、顧問弁護士と相談しながら取り入れるようにしていきます
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月1度研修を実施	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	定期でミーティングを行い、情報共有しそれらをもとにして、計画書の作成を行っている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	71%	29%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	86%	14%	事前のミーティングで決定し立案をしている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	会議で月次の予定を組み、固定化しないようにしています	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	1か月単位で、きちんと、予定を組み予定表を製作しています	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	平日は、主に個別、休日は個別と集団の計画を組み合わせようとしています	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	予定をあらかじめ組み、朝礼で最終確認を行っています	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	57%	43%	送迎等の関係で、バラバラになることも多いので、翌日の朝礼時に前日の細かな報告をしています	ご利用児童の送迎時間の都合上、全員がそろってできることはないので、翌日の朝礼時にするように心がけてます
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	86%	14%		すべてのスタッフがそろって、できることが少ないため、開催時間などの工夫をもう少し考えながら実施していきたい
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	71%	29%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	86%	14%		協力的な学校と、そうでない学校が二分化されているため、そうでない学校に関しては、送迎時のトラブル等(利用日に迎えに行ったが児童は自宅に帰宅している)があるため、そのようなところには、保護者様からの協力もいただきながら改善できるように努めています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%		現在対象者がいません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	受け入れるうえで、わからないことがあれば、すぐに連絡、情報共有できるように努めています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	0%		まだ対象となった児童がいないですが、対象者が現れた場合は、当事業所内での活動の様子等の報告をし、情報共有に努めます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	86%	14%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	14%	86%		現在は実施していませんが、コロナ再開後、徐々に実施していきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		コロナ禍のため参加できていないが、終息後は順に参加していくようにする
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	伝達ミスをしないように、LINEや連絡帳などに書きとめ、共通認識を持っていただくように心がけています	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%	助言等は、行っていますが参加していただくという形は現在とっていません	現在は行っていませんが、コロナが落ち着き次第開始してみたいと思う	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に、別紙で必ず説明しています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14%	86%	年2回定期開催している	コロナ禍のため中止しているが、終息後は順次再開していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	電話、もしくはLINEなどで、まず情報共有し、迅速に対応できるよう工夫しています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	LINEで日中の様子を送ったり、1か月に一回活動報告書を手渡している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	契約時説明を行っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	LINEや連絡帳など、文字で書き残すようにし、あとからでも見返すことができるようにしています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	14%	86%		コロナ終息後に徐々に開始していきたいと考えています

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	86%	14%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に避難訓練を行っている	消防署と連携を図りながら避難訓練や消火訓練等を行っており、必要に応じて、消防署の方に来ていただいている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	86%	14%	年間の研修スケジュールに盛り込んでいます	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	86%	14%	契約事項に盛り込まれているので、契約時にお話をするようにしています	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	71%	29%	医師の指示のもと、訪問看護部門とも連携を取りながら、スタッフ全員で対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ミーティング時に行っています	